

校長通信

夏季休業7/21~8/19

<休み中守ってほしいこと>

- ・大切な一人ひとりにふさわしく、時間を大切に使うこと
- ・自分のことは自分でやること
- ・安全に気をつけ、困ったら相談をすること

7月20日(金)終業式が行われます。夏季休業は、7月21日(土)~8月19日(日)です。夏季休業中、柔道部のインターハイがあり、本校から、岡山君が出場します。また陸上部の東北大会があり、古川君が出場します。それぞれの健闘を祈ります。また、各コースの夏季課外がびっしり詰まっています。教育系大学進学コース(1年)は野外活動があります。さらには、各部とも、合宿を計画しています。8月2日は、さんさ甲子園に本校さんさ同好会の皆さんも出場します。体調に気をつけ

て頑張りましょう。左に示した<休み中守ってほしいこと>を心がけて、充実した夏季休業にしてください。8月20日(月)は始業日です。試験もあります。準備をして元気な顔で登校してきてください。

6/19 礼拝・全校集会

6月19日(火)の全校礼拝では、土沢教会牧師の上野玲奈先生から『二人兄弟の弟が、父親からお金を沢山もらい、家を出て勝手な暮らしをし、そのうちお金もなくなり、困ってしまって家に戻ってきました。父親は弟の帰りを喜びますが、兄は受け入れることができません。』このたとえを通して、弟が困りはて迷った時でさえも、神は探してくれて助けてくださることを知ってください。一方、兄の気持ちについては『バウンダリー(境界線)』の考えがあります。家や国に境界線があるように、人にも境界線があります。それがあいまいになっていることが人間社会にあります。特に現在の日本はそうかもしれません。弟が帰ってきたことは兄の境界線の外であって、反対することではないし、兄に責任が生ずる内容ではないのです。人間関係には「バウンダリー(境界線)」が必要なのです。それぞれしっかりした気持ちを持って、他人の境界線に入り込んでいないか考えてみてください。」とお話になりました。

その後の全校集会では、先日の体育祭の結果発表と賞状伝達が行われ、大いに盛り上がりました。

6. 23 特進コースで講演会

6月23日(土)特別進学コースでは、山形大学工学部の門馬先生をお招きし、大学入試に向けての講演会を行いました。門馬先生からのお話を一部順不同で紹介します。参考にしてください。

- ・柔軟な思考力、人間性：これはAI(人工知能)にはない。だから大切。
- ・東京は3分の2が大学進学、東北は40%、全国平均で51%、大学進学が普通の時代になったのでは

ないか。

1. 大学進学に入学することを目的とすることはダメ。入学すると勉強しなくなるから。大切なのは、「入学したらこんなことを勉強したい」がきちんとあること。
- ・伸びる生徒：なんでこうなるの?と考える生徒。相手の立場に立って考えることができる生徒(広い意味では人間性)。面接の時も面接官はどう考えるか?
- ・大学入試に向けて：嫌いな教科をきちんと克服すること。それと人間性が大切であること。
- ・大学卒業後の就職試験では：SPI(総合適性検査)と、面接試験。SPIでは教養的なこと、常識程度の5教科は聞かれる。ゆえにいまやっているどの教科の内容も大切。理系は、大学の研究室の内容と、面接。ここでも人間性が大切。
- ・大学では、留学生たちは必死に取り組んでいる。彼らの一生懸命さに学ぶべき。

6. 26 自転車安全教室

6月26日(火)、全校生徒を対象に自転車安全教室を開きました。盛岡西警察署の村上さん(本校卒業生)においでいただき、講話をいただきました。その中から一部紹介します。被害者にも加害者にもならないようにしましょう。

- ・自転車事故の多くは、出会いがしら(T字路、十字路)
- ・事故の多い時間帯は、朝8時、夕方6時ごろ
- ・自転車の点検：ふたはとべる(ブレーキ、タイヤ、反射板、灯火、ベル)
- ・自転車運転の4つの原則(道交法)
自転車は車道が原則(歩道通行は定められた所のみ)。左側通行。
歩道は歩行者優先。
ルールを守る
(二人乗り罰金5万円、並列罰金2万円)
- ・自動車免許を持つ人が自転車事故・違反の場合、内容

により、減点。取り消しなどの処置となる。

第一期の成績会議より

6月27日(水)第一期の成績会議を行いました。第一期考査の結果と4月から6月12日までの学校生活について話し合われました。出席状況が良いクラス。欠点(赤点)が少なくよく努力しているクラスがありました。会議では、様々な課題について話し合われました。生徒のみなさんは、それぞれで学校生活を振り返り改善すべきところは改善し、目標に向けて心新たに取り組みましょう。

7. 10 全校礼拝・全校集会

7月10日(火)の全校礼拝では、花巻教会牧師の鈴木道也先生から、オウム真理教の7名の処刑があったニュースを受けて、オウム真理教などのカルト宗教(にせ物の宗教)についてのお話があった。「カルト宗教・カルト団体は、人を支配し思い通りに操り、ロボットのように信者を動かす。なぜこうしたカルト宗教に人は進むのだろうか。私たちは、日常生きる中で面倒なこと、人間関係のわずらわしさなどがあって逃れることはできない。カルト宗教の信者は社会から遮断される為、始めはこれらの面倒くささから逃れられるため、ディズニーランドにいるかのように心地よいのだそう。しかし、次第に全てが指示されたとおりに行動しなければならなくなり、自分が失われていく。これが重大だ。人権侵害である。聖書では、『真理はあなたたちを自由にするもの』とあって、自分らしく生きていくことこそを大切に、自分らしく生きていくことを励ましてくれている。」とカルト宗教に気をつけるようお話がありました。

その後の、全校集会では、ソフトテニス部男子及び女子、陸上女子リレー、男子3000SCの賞状伝達を行いました。

校長講話では、「勉強するということは、なぜそうなるのか、なぜかの疑問の答えを探ること」と話しました。

その後、野球の全校応援に備え、服装(体操着:半袖ジャージ、半ズボンジャージ)、帽子、お茶等水分の持参、体調管理等について、応援委員会の菅原先生、保健室の高橋先生からお話がありました。

高齢者スポーツ大会 7月12日 30名が ボランティア

7月12日(木)高齢者スポーツ大会がありました。本校からボランティア委員会の生徒中心に30名が、スポーツ大会の補助をしました。気温はあまり上昇せず熱中症の心配はなかったようですが、小雨も降る中、頑張ってくれました。これからも、さまざまなボランティアに参加して、いろいろ経験して、素敵な社会人になってください。

夏の高校野球は3回戦へ

夏の高校野球岩手県大会で、本校野球部は7月11日に初戦を突破することができました。7月14日(土)は全校応援を予定しています。相手の応援(たぶん相手も全校応援)に負けないように、選手に声が届くように応援しましょう。野球部の皆さんは、今まで一生懸命練習してきた成果を思い残すことなく発揮してください。そしてどうか目標を達成してほしいと思います。そして私たちを甲子園に連れて行ってほしいと願っています。今、私たちができることは、一生懸命応援することです。それと、生徒全員が学校生活をグラウンドでプレーする選手に負けないくらい一生懸命にしっかり取り組むことです。

部活動の記録

- 柔道部 東北大会 6月22日～24日
男子団体 1回戦 盛大附 0-1 新庄東
男子個人 6名が出場しましたが、入賞者はありませんでした。

- サッカー部 iリーグ 6月23日
盛大附 7-1 沼宮内
- 吹奏楽部 7月1日 盛岡地区大会
「銅賞」を受賞しました。
- 音楽部 岩手県高校合唱祭 7月3日
入賞はしませんでした。審査の先生方から非常に良い評価をいただきました。
- 陸上部 東北高校陸上競技大会 6月14日
男子3000mSC 古川 11位(9分39秒95)
- 陸上部 県選手権兼東北総体予選 7月6日～8日
1部男子 1500m 5位 古川(3-2)
3000mSC 2位 古川(〃)
少年B 3000m 2位 武蔵(1-2)
少年女子4×400mリレー 3位
高橋(2-2)、佐々木(2-3)、
小笠原(1-2)、大久保(1-1)

疾風(しっぷう)に勁草(けいそう)を知る

強い風(疾風)が吹くことで、強い草(勁草)が分かる。苦難にあって、本当のその人の心、その人の意志の強さが分かるという中国のことわざ。

暑くなってきました。学習への取組はどうでしょうか。また、制服をきちんと着こなしていますか。ここまでは、よく頑張っていると思いますが、いよいよ4月の頃の緊張感がなくなり、暑くなり、さらに休みにならだらけてしまいそうです。疾風に勁草を知る。試されているのです。逆にここをしっかりと取り組めば大変立派です。自分の良いところを伸ばしながら、頑張らしましょう。